

実習 グラフによる表現

資料2

グラフを利用すると、数値データを視覚的に表現することができる。表計算ソフトを使えば、簡単に数値処理をしたり、グラフを作成したりすることができる。

いくつかの基本的な関数を覚えて、活用できるようにしよう。また、それぞれのグラフの特徴を理解して、目的に合ったグラフを選択するように注意しよう。

- 1. 裏にある気象データをグラフ化して、分析してみよう。
- 2. 自分の学校に近い都市をひとつ選び、月別最高気温のデータについて、「棒グラフ」「折れ線グラフ」「円グラフ」の3つのグラフにして、見やすさ・分かりやすさを比べてみよう。また、問題点はないか考えてみよう。

棒グラフ	
折れ線グラフ	
円グラフ	

- 3. ____月の各地の降水量データについて、「棒グラフ」「折れ線グラフ」「円グラフ」の3つのグラフにして、見やすさ・分かりやすさを比べてみよう。また、問題点はないか考えてみよう。

棒グラフ	
折れ線グラフ	
円グラフ	

年

組

番

氏名

■各都市の気象データ

気象庁提供(1971年～2000年の平均)

組

番

氏名

表1:<月別最高気温(℃)>

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均気温
札幌	-0.9	-0.3	3.5	11.1	17.0	21.1	25.0	26.1	22.0	15.8	8.1	2.1	12.6
新潟	5.3	5.4	9.1	15.7	20.5	24.1	28.1	30.2	25.7	19.9	14.0	8.5	17.2
東京	9.8	10.0	12.9	18.4	22.7	25.2	29.0	30.8	26.8	21.6	16.7	12.3	19.7
大阪	9.3	9.6	13.3	19.6	24.2	27.4	31.4	33.0	28.7	23.0	17.3	12.0	20.7
長崎	10.3	11.0	14.4	19.5	23.2	26.0	29.9	31.3	28.0	23.4	18.1	12.9	20.7
那覇	19.1	19.2	21.3	24.0	26.4	29.2	31.3	30.9	29.9	27.5	24.2	20.9	25.3

表2:<月別降水量(mm)>

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総降水量
札幌	110.7	95.7	80.1	60.9	55.1	51.4	67.2	137.3	137.6	124.1	102.7	104.8	1127.6
新潟	180.3	128.0	104.6	93.6	103.3	128.3	178.2	142.7	163.0	148.9	200.6	204.4	1775.9
東京	48.6	60.2	114.5	130.3	128.0	164.9	161.5	155.1	208.5	163.1	92.5	39.6	1466.8
大阪	45.8	60.4	102.0	133.8	139.4	206.4	156.9	94.8	171.5	107.5	65.1	34.4	1318.0
長崎	70.3	87.5	128.8	161.1	176.4	360.7	329.6	207.4	207.8	92.6	80.2	57.3	1959.7
那覇	114.5	125.2	159.6	180.7	233.8	211.6	176.1	247.2	200.3	162.9	124.1	100.7	2036.7

●各都市の月別気温

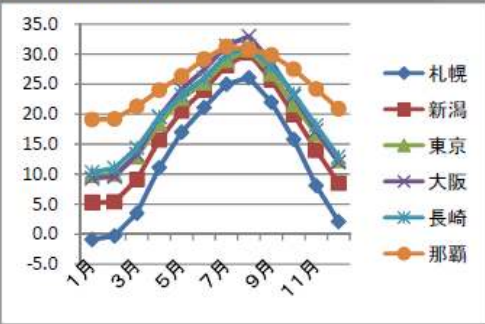


表3:気温の特徴

都市	気温の特徴	
札幌	最高: 26.1℃	最低: -0.9℃
新潟	最高: 30.2℃	最低: 5.3℃
東京	最高: 30.8℃	最低: 9.8℃
大阪	最高: 33.0℃	最低: 9.3℃
長崎	最高: 31.3℃	最低: 10.3℃
那覇	最高: 31.3℃	最低: 19.1℃
気温の違い	夏と冬の	

●各都市の降水量

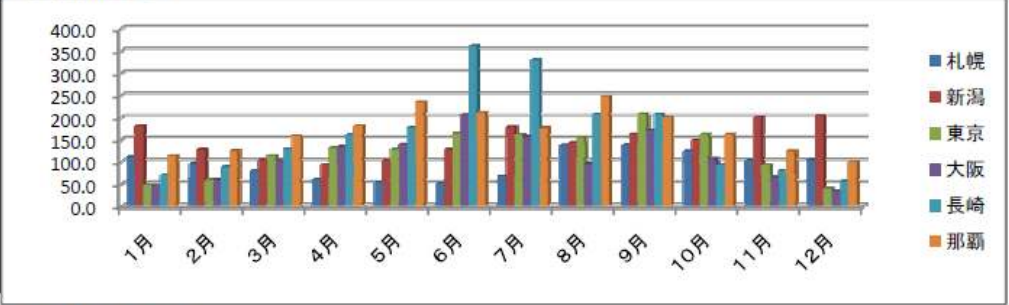


表4:降水量の特徴

	各地の特徴や違いと、その分析(空欄の7～8割を埋めよう。)
梅雨時	◆
台風時	◆
積雪時	◆
その他 気付いた こと	◆